

中津川市上下水道だより

上下水道料金のスマートフォン決済を開始しました

広報10月号などでお知らせをしておりますが、令和2年10月1日から上下水道料金の納付にスマートフォン決済をご利用できるようになりました。

納付書による上下水道料金の納付については、これまで金融機関やコンビニエンスストアでの窓口納付のみ対応しておりましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う新たな生活様式に対応する非接触型の納付方法としてスマートフォン決済を導入しました。

★ご利用できるスマートフォン決済アプリは次のとおりです。

・PayPay, PayB, LINE Pay

※LINE Payのみ納付額が5万円未満のものに限ります。それ以外は30万円未満のものに限ります。その他ご利用条件はお手元の納付書をご覧ください。

★ご利用方法

①上記スマートフォン決済アプリの請求書支払いサービスから、納付書記載のバーコードを読み取ることで納付できます。

②既に発行済みの納付書でもスマートフォン決済をご利用いただけます。

上下水道使用者変更届のオンライン受付を開始しました

中津川市上下水道事業では転入・転出等に伴う使用者変更の届出について、これまでも電話による受付を行っていましたが、WEB開閉栓システムを導入し、24時間・いつでも・どこでも使用者変更の届出ができるようになりました。

使用者変更以外の手続き（所有者変更等）は従来どおり書面での届出が必要となりますのでご了承ください。

ご不明な点は、中津川市上下水道料金センターまでお問い合わせください。

< お問い合わせ先 >

・中津川市上下水道料金センター 電話:0573-62-1285

・営業時間:月～金 8:30～19:00

土日祝日 8:30～17:30

・休業日:12月29日～1月3日

※市役所・文化会館の南側にある健康福祉会館の一角(右写真赤丸)に、

専用の入り口が設けてあります。



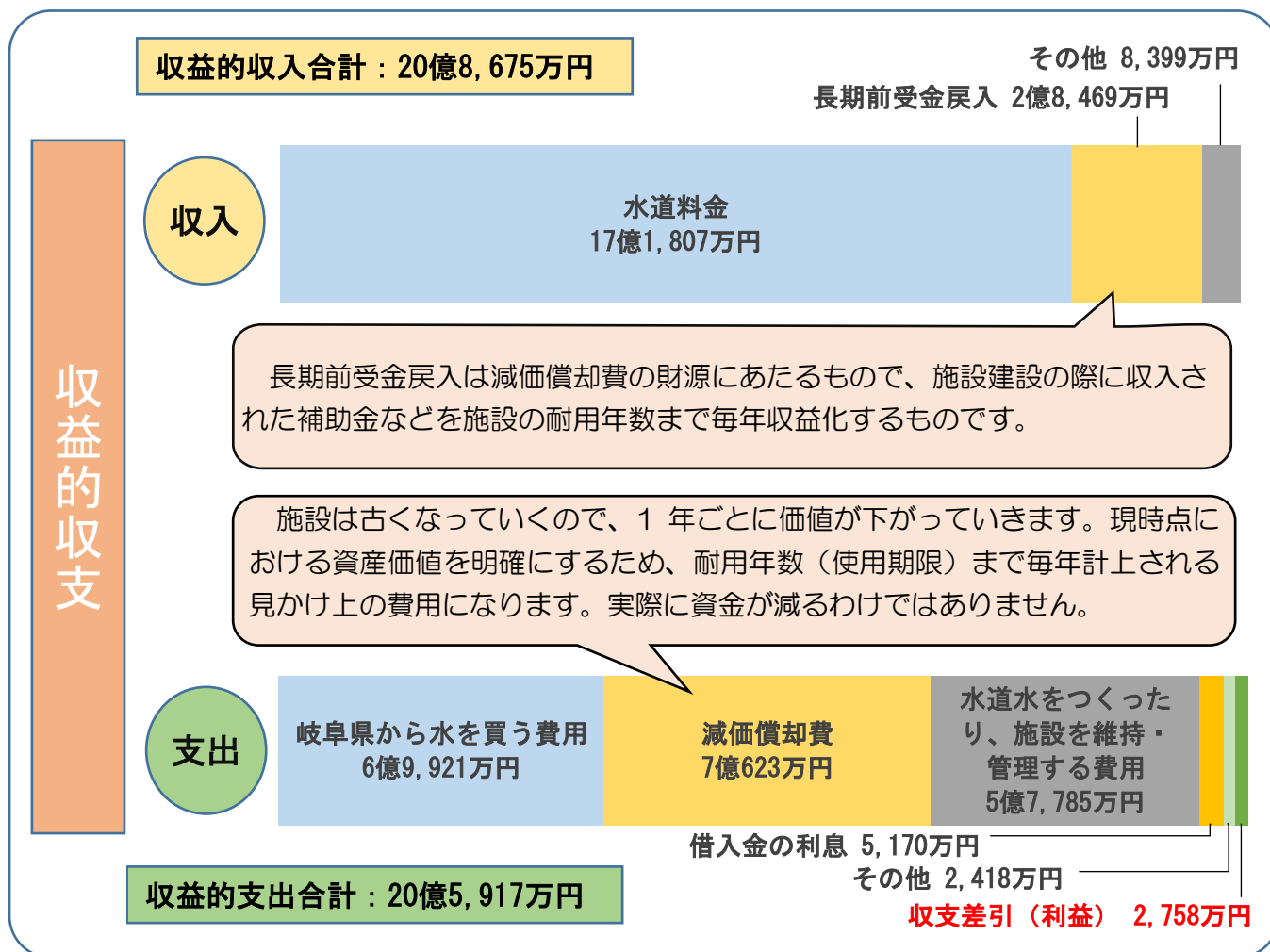
令和元年度決算報告について

水道事業・下水道事業（公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の4事業）の令和元年度決算について報告します。

それぞれの詳細は次のとおりです。

◎上水道事業

水道事業の損益に係る収支を示した収益的収支のグラフです。



収益的収入

単位：円

	R1 年度	H30 年度	前年度比較	前年度比(%)
水道料金	1,718,073,224	1,729,139,736	▲11,066,512	▲0.6
長期前受金戻入	284,692,152	302,755,123	▲18,062,971	▲6.0
その他	83,988,773	107,786,530	▲23,797,757	▲22.1
合計	2,086,754,149	2,139,681,389	▲52,927,240	▲2.5

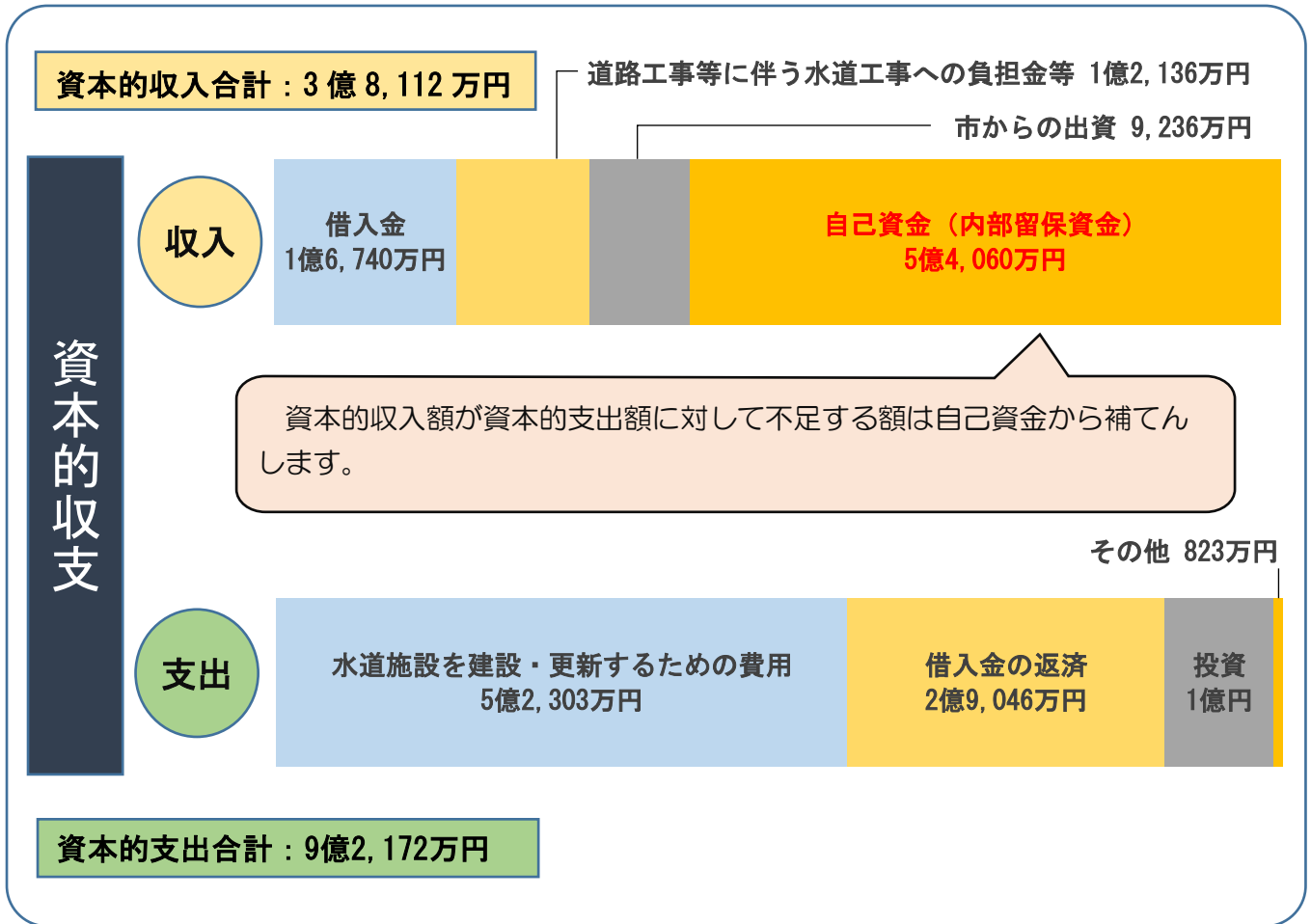
収益的支出

単位：円

	R1 年度	H30 年度	前年度比較	前年度比(%)
岐阜県から水を買う費用	699,207,717	676,717,318	22,490,399	3.3
減価償却費	706,230,005	710,055,513	▲3,825,508	▲0.5
水道水をつくったり、施設を維持・管理する費用	577,847,750	608,470,195	▲30,622,445	▲5.0
借入金の利息	51,705,512	57,488,689	▲5,783,177	▲10.1
その他	24,177,341	68,095,374	▲43,918,033	▲64.5
合計	2,059,168,325	2,120,827,089	▲61,658,764	▲2.9

前年度と比べて収入は減少傾向がみられるものの、経費削減に努めてきたことで、収支としては2,758万円の黒字決算を結ぶことができました。

続いて、将来への投資に関する収支を示した資本的収支のグラフです。



資本的収入

単位：円

	R1 年度	H30 年度	前年度比較	前年度比(%)
借入金	167,400,000	201,200,000	▲33,800,000	▲16.8
道路工事等に伴う水道工事への負担金等	121,364,994	124,732,353	▲3,367,359	▲2.7
補助金	0	29,551,000	▲29,551,000	皆減
市からの出資金	92,357,000	74,933,000	17,424,000	23.3
合計	381,121,994	430,416,353	▲49,294,359	▲11.5

資本的支出

単位：円

	R1 年度	H30 年度	前年度比較	前年度比(%)
水道施設を建設・更新するための費用	523,028,795	771,629,116	▲248,600,321	▲32.2
借入金の返済	290,457,850	306,909,822	▲16,451,972	▲5.4
投資	100,000,000	0	100,000,000	皆増
その他	8,235,400	8,403,872	▲168,472	▲2.0
合計	921,722,045	1,086,942,810	▲165,220,765	▲15.2

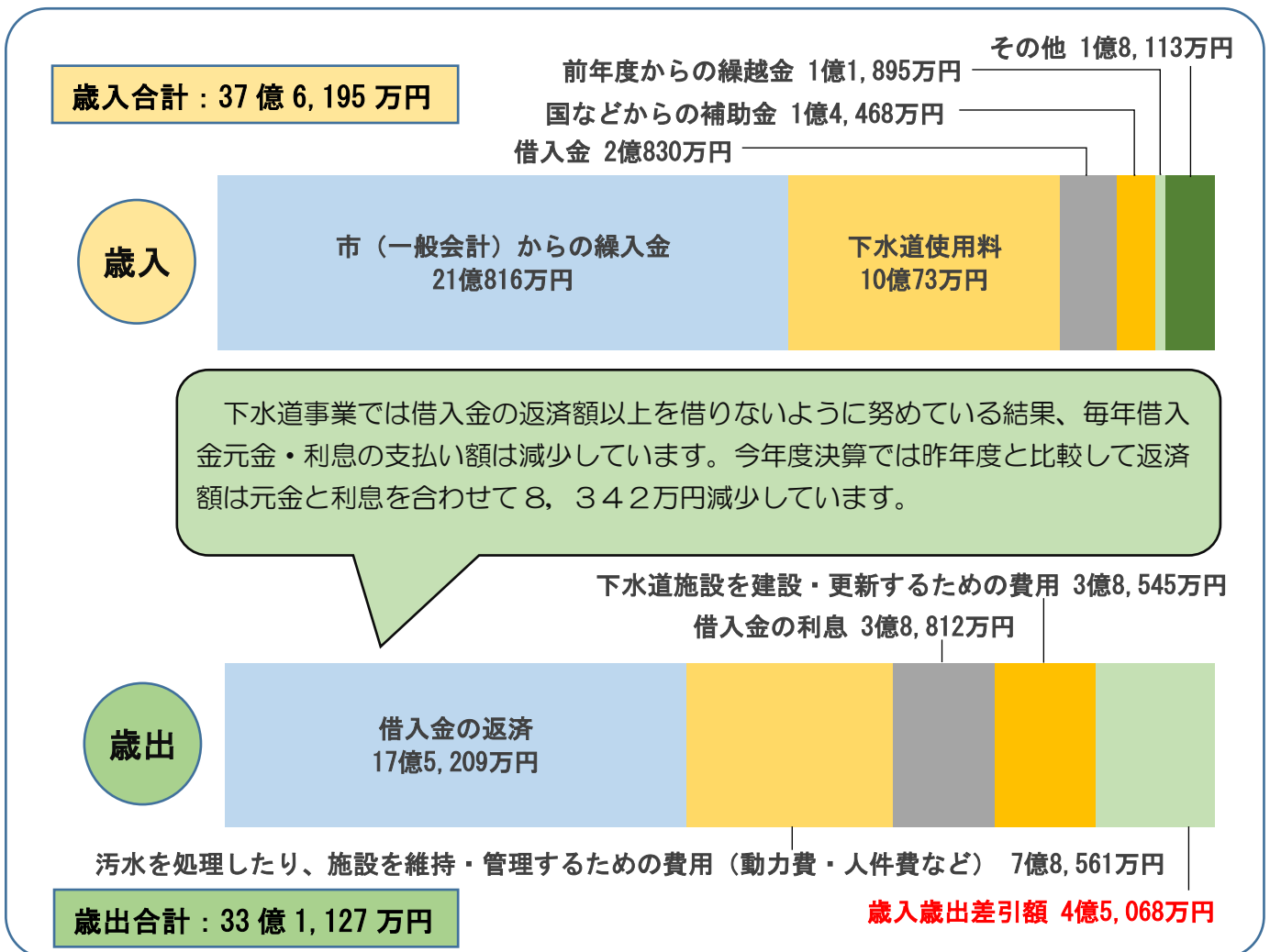
将来への投資にあたる資本的支出は、主に青木斧戸線などの道路整備に伴う水道管布設、管路耐震化工事など改良工事費に充てられました。

今後もリニア開業に向けて、水道施設の整備と平行して経年劣化した管路等の耐震化を行っていく必要があるため、令和7年度までは多くの資金を必要とする時期が続きます。

水道事業では企業債を計画的に活用し、現在の水道受益者だけでなく、将来の水道受益者にも公平に費用負担いただくことで、無理のない計画的な借入を行いながら老朽化施設等の耐震化を進めるとともに、人口減少社会における適正規模の施設整備に努めていきます。

◎下水道事業

公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の4会計合計のグラフは次のとおりとなります。



公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の4事業は令和2年4月1日から地方公営企業法を適用し、新たに中津川市下水道事業として運営していくこととなりました。

4事業の令和元年度特別会計決算については、令和2年3月31日時点をもって打ち切り決算を行い、歳入と歳出の差引額、4億5,068万円を下水道事業会計に引き継ぎました。

今後は、中津・坂本処理区の下水道整備区域を拡大することで下水道使用料収入の増加が見込まれますが、借入金の返済、汚水処理費、下水道整備区域の拡大に伴う管渠整備費用等のコストがかかります。引き続き、持続可能な下水道事業の構築・運営に努めます。